

別記様式

		担当課	中央公民館
会議の名称	第1回 鴻巣市公民館運営審議会		
開催日	令和6年7月10日(水)		
開催時間	10時00分 開会 ・ 12時00分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎3階 303会議室		
議長(委員長・会長)氏名	委員長 竹内茂雄		
出席者(委員)氏名(出席者数)	竹内茂雄、中根節子、酒巻貞夫、寺崎孝雄、中島規夫、小川はるみ、武田恵子、今野久夫、野口道子、道上麻理子、波田野富信、福島光一、山本泰史、三瓶美穂(14名) *敬称略		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	なし		
事務局職員職氏名	中央公民館長 新井隆司 箕田公民館長 清水千之 田間宮生涯学習センター館長 大島和之 あたご公民館長 久保田明子 常光公民館長 榎本智 笠原公民館主査 島寄英紀 吹上生涯学習センター館長 細野兼弘 川里生涯学習センター館長 山縣一公 北新宿生涯学習センター館長 佐々木紀演 中央公民館主査 吉田光一 中央公民館主任 小宮幸治		
傍聴の可否(傍聴者数)	可 (0名)		
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 役員選出 5 議題 6 その他 7 閉会		
	【質疑応答、決定事項等】 1 委員長に竹内茂雄委員、副委員長に中根節子委員を選出した。 2 会議の公開について、説明を行い、承認された。また、次のような質問があった。 本審議会を公開することで決定。 ・会議の「公開」について、どのように公開されるのか。 ⇒公開については傍聴席を設け、傍聴希望の方がいる場合は、話を聞いてもらう。 傍聴人へは録音やビデオ撮影は認めていない。 議事録については、審議会で話し合った内容、出席者の意見を市ホームページや、情報閲覧コーナーで紙媒体を設置して公開している。 3 公民館運営審議会について説明を行い、次のような質問・意見があった。 ・審議会は何人以上の出席で成立するのか。 ⇒公民館運営審議会運営規則第3条より、過半数の出席が必要。 今回14名の委員委嘱となり、半分7名以上の出席で成立となる。 ・SNS等で間違った情報が拡散された場合の対処は。 ⇒インターネットでは答えていない。市長への提言や各公民館へ意見に回答している。		

4 令和5年度公民館事業報告について説明を行い、次のような質問・意見があった。

- ・事業報告の中の受講者の数は延べ人数か、参加申込者数か。
⇒参加申込人数。
- ・公民館講座は年齢で区別せず、興味がある方は参加できるよう計画したらどうか。
⇒講座の分類は報告様式に合わせた区分。実際の募集では、子供向け講座については年齢制限を設けているが、成人・高齢の講座については、年齢制限なく受付。
- ・講座参加希望者を全員受けられるよう、広い会場の使用や2部制等抽選にならないよう対策が必要。
⇒2部制の講座を取り入れ始めている。安全に受講できるようスペースの制限のなかで、定員を増やしていきたい。
- ・川里生涯学習センターで行っているような英語講座を、積極的に各館取り入れたらどうか。
⇒他の館にも広めていく。
- ・興味がある講座は同じ参加者が続き、新しい市民の参加が少ない。
新規の顧客を取り入れないと、既存の顧客は高齢化してくるので参加人数は増えない。
広報体制・新規顧客を獲得するために各公民館はどのような形で取り組んでいるのか。
⇒積極的に公民館を利用頂いている方以外へも利用を広めるため、夜間の時間開催の講座や、いままで取り上げていないような講座実施、広報・受付でのインターネットでの対応も考えていく。
- ・講座参加者のうち、初めて公民館活動に参加した方がどれぐらいか統計を取っているか。
⇒講座参加者へアンケートは行っているが、活動が初めてかという統計は取っていない。
- ・公民館利用の高齢者は、自転車で来ていた方が自力で来られなくなり利用が難しくなる。
新規利用者を増やすため、公民館の活動として自治会や集会所でヨガなど出前講座等を行い、自治会と公民館が一緒になって活動すると利用者も増えるのでは。
⇒高齢だと公民館にお越しいただくのが難しいというのは懸案事項。
最近の公民館利用者は、乗り合いタクシーで来られたり、車に乗り合いで来られたりしている。市の出前講座はスポーツ座学等あるが、公民館の各施設を利用して活動が基本。
- ・あたご公民館のヨガ教室を松原社協と共催しているが、どのように共催しているのか。
⇒松原の自治会で回覧をして募集していただいております、公民館で一緒に行っている。
卓球交流会も松原の自治会が主体となり、毎月月末に誰でも参加できるものとして実施。
- ・公民館利用者数は、どのように算出しているのか
⇒公民館主催講座だけではなく、サークル利用者等の人数を含めた数。
施設利用毎に利用団体から人数を確認し、集計している。
- ・令和2年度から5年度にかけて、公民館の利用人数が増加している要因は。
⇒コロナ発生時は、利用定員を制限したり、外出自粛等でサークル活動が縮小したりと利用が減っていた。その後、消毒や換気といった対策が始まり、コロナの対処方法を学んできて、利用人数も微増となってきた。

5 令和6年度公民館事業計画について説明を行い、次のような意見があった。

- ・事業計画の備考欄に、前年度からの継続講座か、新規講座か、継続の場合はどんなニーズがあったのか、新規の場合はどのような狙いで開催するのか記載があると審議しやすい。
⇒継続講座は、どのようなニーズがあったか記入したい。
- ・あたご公民館のヨガ講座は、令和5年度の事業報告では受講者が多かったが、令和6年度の事業計画では定員数を増やすべきでは。
⇒ヨガ教室は松原社協の定員40名、公民館側の定員20名、合計60名で対応し行っている。

	6 公民館運営審議会委員より選出する図書館協議会委員について、竹内茂雄委員を選出した。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・鴻巣市公民館運営審議会委員名簿 ・鴻巣市公民館運営審議会議傍聴規定 ・公民館とは 資料1-1 ・公民館運営審議会について 資料1-2 ・令和2年度～令和5年度 公民館利用状況 資料2 ・令和5年度公民館事業報告 資料3 ・令和6年度公民館事業計画 資料4 ・令和6年度(前期)公民館事業計画 資料4集計 ・令和6年度公民館まつり開催日程(予定) 資料5